

第 5 学年外国語活動学習指導案

学校名 竹原市立吉名学園
 指導者 T1 中野 愛
 T2 有松 浩司
 ALT Garrett Wilson

- 1 日 時 平成 30 年 11 月 14 日 (水)
- 2 学 年 第 5 学年 (15 名)
- 3 単元名 『日本文化でお・も・て・な・し』
We Can!1 “She can run fast. He can jump high.”
- 4 単元について

○ 本単元では、“English Day”に向けて日本文化を話題にやり取りするとともに、ALT に招待状を書くことをねらいとしている。本校は 11 月末に竹原市の ALT 4 人に来校していただき、全校で英語を通してかかわる“English Day”を設けている。国語科「和の文化を受けつぐ」の学習と関連させ、“English Day”当日は ALT に日本文化を紹介し、体験してもらおう。前半は自己紹介の中で、自分が得意なことを話題にする。後半は、ALT が当日体験できる日本文化（書道・華道・茶道・折り紙）やアピールポイントを伝えてやり取りする。初めて出会う外国の方をもてなすことから、会話の面でも相手に配慮したやり取りを意識させることが可能である。

招待状については、やり取りしたことをもとに、書く活動をくり返すことで、目的をもって書くことに少しずつ慣れ親しませる。本単元で書く招待状は、自己紹介もかねている。やり取りと同じように前半は自己紹介、後半は当日体験できることについて書き、児童のオリジナル招待状を完成させる。

ただ、新出表現の 3 人称については、3 学期の“Who is your hero?”で取り上げることとし、本単元では、「can」を中心に学習することとする。

○ 10 月に行った外国語活動のアンケート結果から、以下の 3 項目を取りあげる。

質問(第5学年)	計 15 人	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
① 英語を書く時には、単語を並べる順番を考えながら書いています。		7人	4人	4人	0
② 英語を書く時には、単語の間を空けるなど、英語の書き方のきまりを守って書いています。		6人	7人	2人	0
③ 英語でやり取りをする時には、会話が続くように知っている表現を使うようにしています。		1人	11人	2人	1人

いずれの質問についても、否定的回答をした児童がいた。特に①語順については、授業において取り扱う機会がまだ少なく、児童に意識させることができていない。②書き方のきまりにおいても、まずは大文字・小文字やアルファベットを正しく書くことに重点を置いて指導してきたため、スペースや単語のまとまりに注意して書く児童は少ない

と考える。

質問③より、「知っている表現を使うようにしている」と自信をもって言える児童は1人だった。既習の表現を新単元でも使わせているが、教師側が示した会話例をそのまま真似て使わせることが多く、これまでとのつながりに気付かせる指導が不十分である。

○ 指導にあたっては、次の2点に留意する。

1点目は、書く目的を持たせる。本単元では、ALTにEnglish Dayの招待カードを送るために、紹介する遊びについて書く。書き方のきまりを守っていない例を見せることでALTには正しく伝わらないことをデモンストレーション等で見せる。また、児童が見ても読みにくいことに気付かせる。また語順に関しては、やり取りで慣れ親しんだ表現について、英文の文字と教師の発話する英語の音とを結びつけて正しく並んでいるかを確認させる。

2点目は、既習表現の活用である。友だちの質問にYes, I can. / No, I can't.で終わらせず、もう1文付け加えて話を広げることができるようにさせる。既習のリアクション表現はもちろん、I like～. や本単元で学習するI can～. の使い方をデモンストレーションで見せる。また、児童にとって身近で、友だちにはあまり知られていない話題を示すことで、児童の「伝えたい・聞きたい」思いを引き出すようにする。

5 単元目標

【コ】相手が伝えたいことを受けとめ、相手に配慮しながらやり取りする。

【慣】自分ができることやできないことを伝えたり、質問をしたりする。

書き方のきまりに気を付けて、招待状を書く。

【気】can, can'tの意味に気付く。

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
相手の伝えたことに応じて、 リアクションを工夫している。	① 自分ができることやできないことを伝えたり、相手ができるか尋ねたりしている。 ② 書き方のきまりに気を付けて書いている。	can, can'tの意味に気付いている。

7 単元ゴール

<p>コミュニケーションの 目的・場面・状況</p>	<p>【目的】ALT に English Day の招待状を書き，事前に送る。当日は，英語でやり取りしながら日本文化でもてなす。</p> <p>【場面】English Day で，児童が ALT に自己紹介をした後，準備している日本文化体験に誘う。</p> <p>【状況】English Day では，初めて出会う ALT 3 人と本校に勤務する ALT 1 人に自ら話しかける。</p>
<p>目指す発話例</p>	<p>A: Hello. I'm~. Nice to meet you. B: I'm~. Nice to meet you too. I can cook <i>okonomiyaki</i>. B: Oh, <i>okonomiyaki</i>? Great! A: Can you cook <i>okonomiyaki</i>? B: No, I can't. But I like <i>okonomiyaki</i>. I can eat <i>wasabi</i>. Can you eat <i>wasabi</i>? A: A little. But I don't like spicy food.</p> <p>Today, you can enjoy Japanese calligraphy. You can use <i>kumanofude</i>. B: Good! A: Let's enjoy together!</p>

8 言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
<p><u>I can / can't ~.</u> <u>You can enjoy~.</u> <u>Can you~? Yes, I can. / No, I can't.</u> <u>Let's enjoy together!</u></p>	<p>自己紹介 play, cook, do, eat など</p> <p>体験内容 Japanese calligraphy the Japanese tea ceremony <i>origami</i> Japanese flower arrangement</p> <p>体験質問 eat, make, write, arrange など</p>

9 単元計画（全8時間）

時	目標（◆），主なやり取り等（○）	評価規準・評価方法
1	<p>◆ can, can't の意味に気付く。</p> <p>○映像(Hi! friends plus)を見て，can と can't の意味を考える。</p> <p>○本単元のゴールを知り，見通しをもつ。</p> <p>○教師と児童で簡単なやり取りをする。</p>	<p>【気】</p> <p>行動観察・ワークシート</p>
2	<p>◆ 日本文化を話題に自分ができていることを伝え，書く。</p> <p>○できていることを伝える表現の仕方を知る。</p> <p>○自分ができていることを伝える。</p> <p>○例文の一部に自分ができていることを書き写す。（1つの単語はまとめて書く）</p> <div data-bbox="229 719 1013 949" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: Hello. I can cook okonomiyaki. B: Oh, okonomiyaki? Great! I can eat wasabi.. A: Wasabi? Really? B: Yes!</p> </div>	<p>【慣①②】</p> <p>行動観察・ワークシート</p>
3	<p>◆自分ができていることについて質問を入れてやり取りする。</p> <p>◆相手の伝えたことに応じて，リアクションをする。</p> <p>○できるかどうかを尋ねる質問の表現を知る。</p> <p>○自分が伝えたできていることにかかわらせて，質問を考え，やり取りする。</p> <p>○Yes, No の答えにもう1文加えて相手の話を広げる。</p> <div data-bbox="229 1283 1013 1532" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: Hello. I can cook okonomiyaki. B: Oh, okonomiyaki? Great! A: Can you cook okonomiyaki? B: No, I can't. But I like okonomiyaki. A: Me, too. B:同様に続く</p> </div>	<p>【慣①関】</p> <p>行動観察・ワークシート</p>
4 本 時	<p>◆相手に配慮してやり取りし，書く時のきまりに気をつけて1文を書く。</p> <p>○指導者のやり取りを見て相手の話の広げ方を想起し，指導者とやり取りする。</p> <p>○これまでの学習した表現を使ってやり取りする。相手の伝えたことに応じてリアクション等を工夫する。（第3時と同じ）</p> <p>○英文の書き方のきまりを知る。（語と語の間はスペース）</p> <p>○例文を見ながら書き写す。</p> <p>○自分ができていることを1文書く。</p>	<p>【慣②関】</p> <p>行動観察・ワークシート</p>
5	<p>◆体験できる日本文化の話題でやり取りし，自分が紹介する文化を書く。</p>	<p>【慣①②】</p> <p>行動観察・ワークシート</p>

	<p>○日本文化について新出表現を知る。</p> <p>○ALT が体験できる文化の話題でやり取りする。</p> <p>○ALT が体験できることを一部書く。(大文字と小文字)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: Today, you can enjoy Japanese calligraphy.</p> <p>B: Japanese calligraphy? Sounds good!</p> </div>	クシート
6	<p>◆体験内容について, アピールポイントを伝えてやり取りし, 書く。</p> <p>○教師のやり取りを聞いて, 新出内容に気付く。</p> <p>○体験内容についてアピールポイントを考え, You can～.を使って伝える。</p> <p>○アピールポイントを一部書く。(ピリオド)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: Today, you can enjoy Japanese calligraphy. You can use kumanofude.</p> <p>B: Kumanofude?</p> <p>A: Yes. It's a Japanese famous brush.</p> </div>	【慣①②】 行動観察・ワークシート
7	<p>◆相手を体験に誘う表現を知り, 全てを通してやり取りする。</p> <p>○教師のやり取りを聞いて新出表現を知る。</p> <p>○体験できる日本文化についての話題を通してやり取りする。</p> <p>○Let's enjoy together!をなぞる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: Today, you can enjoy Japanese calligraphy. You can use kumanofude.</p> <p>B: Kumanofude?</p> <p>A: Yes. It's a Japanese famous brush.</p> <p>B: Good!</p> <p>A: Let's enjoy together!</p> </div>	【関】 行動観察・ワークシート
8	<p>◆招待状を清書する。</p> <p>○自己 PR と体験紹介を通してやり取りする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: Hello. I can cook <i>okonomiyaki</i>.</p> <p>B: Oh, <i>okonomiyaki</i>? Great!</p> <p>A: Can you cook <i>okonomiyaki</i>?</p> <p>B: No, I can't. But I like <i>okonomiyaki</i>. I can eat <i>wasabi</i>. Can you eat <i>wasabi</i>?</p> <p>A: A little. But I don't like spicy food.</p> <p style="text-align: center;">Today, you can enjoy Japanese calligraphy. You can use <i>kumanofude</i>.</p> <p>B: Good!</p> <p>A: Let's enjoy together!</p> </div> <p>○これまでに書いたものを参考に, 招待状を書く。</p> <p>○書き方のきまりに沿って見直す。</p> <p>○友だちが書いたものを読み合う。</p>	【慣②】 行動観察・ワークシート

10 本時の計画（4／8時）

(1) 目標

相手に配慮してやり取りし、書く時のきまりに気をつけて1文を書く。

(2) 評価規準

- ・相手に応じて話し方を工夫している。【関】
- ・書き方のきまりに気をつけて書いている。【慣②】

(3) 準備物

電子黒板、写真・カード・ミニ黒板・ワークシート

(4) 展開

学習活動	指導上の留意事項と使用英語例	評価規準・評価方法
<p>1 挨拶をする。</p> <p>2 指導者のやり取りを聞き、質問に答える。</p> <p>3 既習表現を使ってやり取りする。相手に応じた話し方に気付き、再度やり取りする。</p> <p style="text-align: center;">めあての確認</p> <p>4 できることを伝える英文を見て、音声をヒントに間違いに気付く。</p>	<p>全：体調・日付・曜日・天気・時間を全体で確認する。</p> <p>全：T1・T2が好きなものやできることについてやり取りする。 T2がイカの塩辛が入ったビンを見せ、食べられるか問う。 日本独自の食べ物についてT1は児童に質問し、児童とやり取りする。</p> <p>T2: 別室で着替え、始めて児童と出会う外国人として登場する。</p> <p>T1: できることを話題にやり取りさせ、初めて出会う人T2との挨拶を工夫している児童を取りあげる。 また、日本独特のものが分からないふりをするT2に対し、他の言葉やジェスチャーで伝えようとする児童を取りあげる。</p> <p>T1: 相手に応じた話し方のコツを考えさせ、再度やり取りさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">外国の先生方に上手く伝えるコツは？</div> <p>T1: わざと語と語の間にスペースがない・1つの単語にまとまりがない例文を見せる。</p> <p>ALT: 言いたいことが伝わらないことを</p>	<p>・相手に応じて話し方を工夫している。【関】</p>

	<p>示す。</p> <p>T1：伝えたい文を読んで児童に間違いを指摘させる。</p> <p>どこでスペースを空けるか児童に指し示させる。</p> <p>どのくらいのスペースを空けるか児童に問い，その後 ALT の説明を聞かせる。</p> <p>T2:児童が見つけた書き方の決まりを板書する。</p>	
5 スペースを意識して例文を書き写す。	T1：1単語ずつ発音しながら書き写させる。	
6 自分が招待状で PR したいことについて書き，読み合う。	T1：自分ができることをワードリストから選んで書かせる。	<p>・書き方のきまりに気を付けて書いている。【慣②】（行動観察・ワークシート）</p>
	<p>児童の様子を見ながら動詞が抜けている例を板書し，見直しをさせる。</p> <p>互いに書いたものを読ませる。</p>	
7 本時を振り返る。	T1：本時についた力について，評価する。	

1 1 板書例

めあて 外国の先生方に上手く伝えるコツは？

① 言葉で伝える

写真 1 初めて
出会う人に
コツ

写真 2 日本独自の物
を知らない人に
コツ

② 書いて伝える

○ I can cook okonomiyaki.

× I can cook okonomiyaki.

× I can cook okonomiyaki .

スペースを空ける
アルファベット1つ分

word box

eat

mozuku



kabayaki



nameko



umeboshi



cook

takoyaki



tamagoyaki



miso soup



yakisoba



drink

matcha



green tea



yuzu juice



do

kendo



play the

taiko drum



INVITATION

To English teachers in Takehara city.

We are 5th grade students in Yoshina Gakuen.

Nice to meet you.

English Day Coming soon!

Date: November 26th

Time: 10:40~12:15

Place: classroom 5-A

Hello.

I'm



You can enjoy

Let's enjoy together!



ワークシート

めあて

「自分のできること」を外国の先生方に上手く伝えるコツは？

① スペースを意識して例文を書き写そう。

I can cook okonomiyaki.

I can cook okonomiyaki.

② word box を参考に招待状で自分ができていることを書きましょう。

③ 書き終わったら自分の書いた文を見直して、右の□の中に☑を入れよう。

チェック

単語と語の間にスペースを置く。(アルファベット1個分)

1つの単語はくっつける。(ギョツ)

文字の高さが合っている。(○階建て)

ピリオドを正しくうつ。

I can cook yakisoba.

振り返り

	よくできた	できた	もう少し
1. 外国の先生方と出会った時のことを意識して話した。			
2. 英語で文を書く時のコツを見つけて書いた。			

○ あなたが見つけたコツや、感じたことを書きましょう。

もじをかくときは、きちんとあいたをあけては、きりがく。 Nice to meet you~ といふことは、おも、とつかおうとおもった。

招待状

Hello.

I'm Tsumura Ringo.



I can eat mozuku.



You can enjoy origami.

You can make a crane.



Let's enjoy together!

